

## ◆目的

全庁的に公共施設マネジメントに取り組むなか、住民等利害関係者の理解や協力を得るための「社会的合意形成」の考え方や手法の習得を目指す。

## ◆現在及び今後の取組み

- ◇ 今年6月30日に「桑名市公共施設等総合管理計画【平成26年度版】」を策定。
- ◇ 今後、長期的な視点での公共施設等の最適配置を目指し、ハコモノについて、今後50年間で総量（延床面積）の33%を削減し、更新時には多機能化・複合化を進める。
- ◇ 来年度は、今後10年間の個別施設毎（ハコモノ）の再編計画（統廃合、多機能化・複合化等）をまとめた実施計画（アクションプラン）を策定する。

## ◆内容

開催日、場所：平成27年10月26日（月）9時～12時、桑名市役所本庁舎5階中会議室

参加者：①公共施設・資産マネジメント推進本部（ハコモノ、インフラ、資産活用部会員）21名  
②公共施設（ハコモノ）所管課担当者等 29名

内容：第1部 講演「公共施設マネジメントと合意形成」他（上記①、②）  
第2部 庁内ワークショップ「公共施設マネジメントの仮想事例を用いた合意形成」（上記②）

講師：パブリックハーツ㈱水谷香織様



【第1部】市長あいさつ



【第1部】水谷様講演



【第2部】庁内ワークショップ



【第2部】グループ毎の発表

## 第1部 講演「公共施設マネジメントと合意形成」

### 合意形成とは【水谷講師】

- 合意とは 「利害関係者が満足、少なくとも納得できる状態」
- 合意形成とは 「利害関係者が合意を目指して行う前向きな話し合いのプロセス」
- 社会的合意形成とは 「社会的な課題に対して行う合意形成」で、  
「多様な関係者の参加型の政策立案・計画策定プロセス」ともいえる
- 合意形成の基本手順
  - ① 何についての合意形成か？
  - ② 誰が意思決定者（＝責任者）か？
  - ③ 誰が利害関係者か？
  - ④ 利害関係者全員の利害・関心は？
  - ⑤ ④を全て満たす提案は？
  - ⑥ 全員が満足、少なくとも納得できる案⇒合意に至る

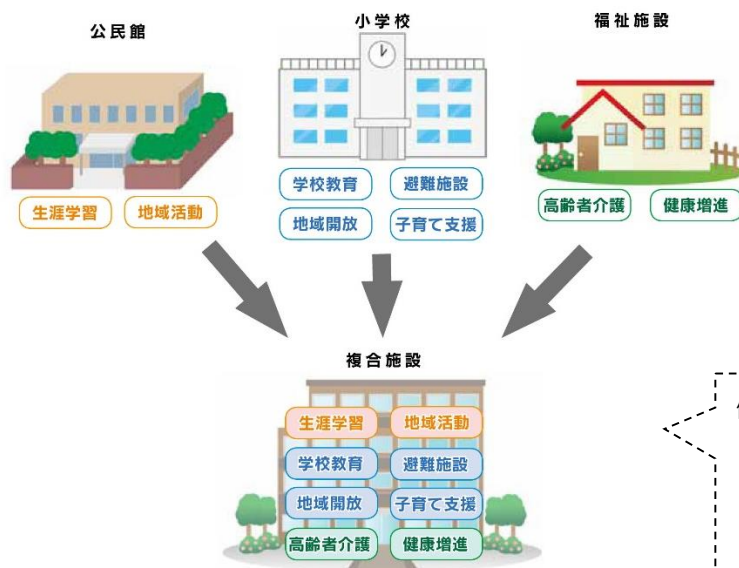
※合意に至らない場合もある

利害・関心事項を

1. 聴く
2. 的確にとらえ、それでよいか確認する
3. 整理する
4. 分析する
5. 全てを満たす方策群を提案する

### 公共施設マネジメントにおける合意形成

#### ◆多機能化・複合化とは



小学校・公民館・福祉施設等のサービスを一つの施設に集約します。

複合化により、総量の圧縮や利用者間交流の促進、サービスの向上が図れます。

他市の主な複合化の事例

- ・ 小学校と公民館、図書館の複合化
- ・ 中学校と保育所、デイサービスセンターなど複合化

#### 【参考事例】

宇治市立小倉小学校（福祉施設多機能化）

- ・ 空き教室を福祉施設（デイサービス）に転用
- ・ 施設間交流や身近に生活することで世代間交流



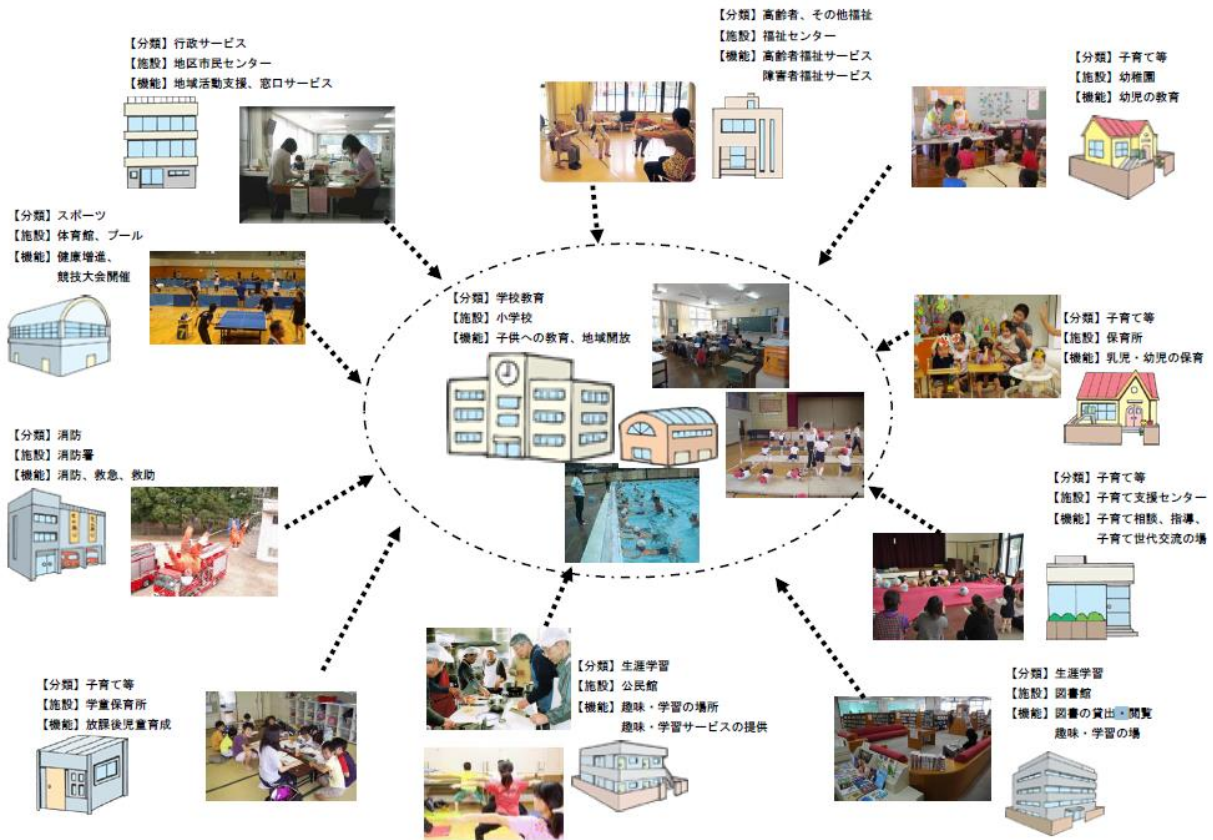
市川市立第7中学校（保育所、デイサービス等多機能化）

- ・ 建て替え時に余剰面積を活用（PFI事業）
- ・ 保育園児と交流、豊かな心を育成



## 第2部 庁内ワークショップ「公共施設マネジメントの仮想事例を用いた合意形成」

### ★モデルケース「小学校を地域の拠点とした多機能化・複合化施設」



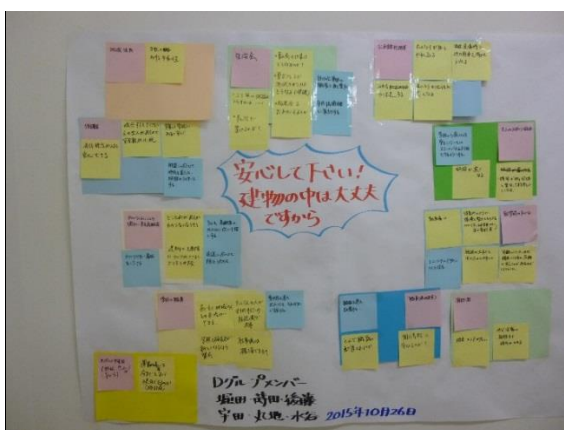
A グループのまとめ



B グループのまとめ



C グループのまとめ



D グループのまとめ

## 庁内ワークショップのまとめ

①何についての合意形成か（何を決めるのか）？

- ◇ ハコモノの総量削減に向け、施設の更新時に学校など地域の核に、多機能化・複合化を進めていく。
- ◇ 各機能の課題認識のもと、多機能化・複合化方針を定め、H28 策定の実施計画（アクションプラン）に繋げる。また、多機能化・複合化により、利用者交流促進や市民サービス向上に繋がることを認識する。

②意思決定権者は誰か？【市長】

③利害関係者は誰か？ ④利害・関係者の利害関心は何か？ ⑤④を全てを満たす提案は？

| ③利害関係者        | ④利害・関心   | ⑤提案  |
|---------------|--|--|
| 児童・生徒<br>保護者  | 知らない人が出入りし、安全面が不安。<br>授業を受けやすい環境か。学力低下しないか。<br>通学が遠くなる。            | 時間帯ごとにエリアシェアする。<br>出入口に警備員を置く。<br>動線を考え、出入口を分ける。 |
| 教師            | 学校の管理が難しい（外部の人が侵入）。<br>授業の影響（利用制限、自由に授業出来ない）。<br>子どもと地域の人との交流が図れる。 | 防音壁を設置する。<br>スクールバスを運行させる。                       |
| 公民館等施設<br>利用者 | 使いたい時に使えないことがある。<br>子どもを預けて図書館や講座に行ける。<br>駐車場が不足。遠くなる。利便性が悪くなる。    | 利用できる時間帯を分ける。<br>施設管理スケジュールを徹底する。                |
| 高齢者           | 施設が使いにくくなる。<br>車に乗れないので、歩いていくのに遠い。                                 | ユニバーサルデザインの施設に改修する。<br>送迎バスを運行する。                |
| 就学前の子<br>ども   | 乳幼児用トイレや床素材等の施設環境を整備<br>できるか。                                      | 子ども、高齢者機能は、出入口に近い1階<br>に配置する。                    |

### 【研修の感想】

#### ■公共施設マネジメント

- ◇ 公共施設マネジメントを進めるためには、合意形成は重要である。
- ◇ 公共施設を統廃合することで、市民の利用促進に繋げることもできると思う。
- ◇ 財政状況が厳しい中、職員全員が本気で公共施設マネジメントに取り組んでいかなければならない。
- ◇ 小学校を複合化することで、ワンストップサービスの拠点とすることが必要である。
- ◇ 多機能化・複合化により、メリットがあることも考えなければならない。

#### ■合意形成

- ◇ 合意形成を行っていく上で、アプローチの考え方や方法が勉強になった。
- ◇ すべての業務において合意形成は必要で、市民の声を十分に聴き、満足できるものに近づけることが重要。
- ◇ 市民ニーズを把握するため、話をよく聴き、相手の立場や気持ちを考えることが必要であると感じた。
- ◇ デメリット部分をプラス方向に作用させるよう対応できるかがポイントとなる。反対、賛成ではなくその裏の気持ちをしっかり聴かなければならない。
- ◇ 考え方や伝え方を工夫することで、スムーズに合意形成を進められると思う。

#### ■その他

- ◇ 他部署の仕事内容を聞くことができ、深い議論をすることができた。
- ◇ 今後、仕事を進めていく中、他部署とのつながりを大切にしなければいけないと感じた。
- ◇ 住民への説明はなるべく早めに行い、しっかり納得していただけるような時間をとるべきである。
- ◇ 公共施設マネジメントについて定期的に研修を実施してほしい。
- ◇ ワークショップの時間が短かった。もう少し時間を増やした方が良い議論ができたと思う。